

施策15

快適な都市基盤の整備

(全 11 事務事業)

施策15.快適な都市基盤の整備

- 施策評価表

- 事務事業評価表

掲載開始
ページ

1. 地域公共交通会議運営事業	(経営企画課)	1
2. オンデマンドバス運行事業	(経営企画課)	3
3. 吉原防災ふれあい広場維持管理事業	(経営企画課)	5
4. 道路維持管理事業	(都市整備課)	7
5. 道路新設改良事業	(都市整備課)	9
6. 橋梁維持管理事業	(都市整備課)	11
7. 交通安全施設整備・維持管理事業	(都市整備課)	13
8. 都市計画道路志免・宇美線建設事業	(都市整備課)	15
9. 都市計画事務	(都市整備課)	17
10. 国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会事業	(都市整備課)	19
11. 公園管理事業	(都市整備課)	21

施策評価表（事業実施年度:令和 06 年度）			前期基本計画期間 <<令和3年度～7年度>>	
体 総 合 計 系 画	基本目標	5. 環境にやさしく快適に暮らせるまち	施策統括課	都市整備課
	施策	15. 快適な都市基盤の整備	関 係 課	経営企画課・生活安全課・上下水道課

1. 施策の成果指標の達成度

成果指標 (関連する町の取り組むべきこと)	単位	基準値 目標の方向性	R6目標値 R6実績値	実績値の年次推移	判定
自宅周辺の身近な道路の 利用しやすさに満足している 町民の割合	%	61.1	62.6		c
15-1		↑	58.6		
狭小な土地分譲 (分譲の平均が140㎡未満)の割合	%	30.7	6.1		a
15-2		↓	0.0		
身近な公園や広場の 利用しやすさに満足している 町民の割合	%	62.8	66.2		a
15-2		↑	73.7		
巡回バスの利用者数【総合戦略】	人	82,330	84,466		c
15-2		↑	22,281		
給水制限や断水の発生日数 (自然災害や計画的な工事等によるものを除く)	日	0	0		a
15-3		→	0		

達成度:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

15-1 安全で便利な道路環境を整える	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 安全で便利な道路環境の整備 5 位 / 52 位	都市整備課

町が取り組むべきこと	①慢性的な交通渋滞の対策や交通の利便性向上のため、都市計画道路「志免宇美線」の早期完成を目指し、関係機関に働きかけます。 ②交通量など様々な要素を考慮し設定した各計画に基づき道路拡幅、歩道整備、舗装や橋梁を改修するとともに、通学路の交通安全対策や水路への転落防止対策を行います。
主な取り組み状況	・各計画の優先度により設計、工事などを進めた。
課題	・急速に環境の変化や道路施設の老朽化が進んでいる。
R8年度取り組み方針	・各計画に基づき設計、工事などを進める。

町が取り組むべきことの達成状況

- ☐ 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
☒ 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない
☐ 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない

構成する事務事業(評価対象事業のみ)

番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価	
	事務事業の概要		事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
	担当課	会計区分	経費区分	R5 決算	R6 決算	R7 予算		
1	道路維持管理事業		特定財源	2	2	10	D	D
			一般財源	107,355	147,028	98,410	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
			合計	107,357	147,030	98,420		
			(内 会計年度任用職員人件費)					
2	道路新設改良事業		特定財源	24,700	0	39,000	D	D
			一般財源	44,691	59,715	77,504	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
			合計	69,391	59,715	116,504		
			(内 会計年度任用職員人件費)					
3	橋梁維持管理事業		特定財源	13,200	34,650	29,700	D	D
			一般財源	12,842	29,928	26,500	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
			合計	26,042	64,578	56,200		
			(内 会計年度任用職員人件費)					
4	交通安全施設整備・維持管理事業		特定財源	18,066	20,910	25,615	D	D
			一般財源	24,163	21,035	28,274	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
			合計	42,229	41,944	53,889		
			(内 会計年度任用職員人件費)					
5	都市計画道路志免宇美線建設事業		特定財源	0	21,400	52,600	D	D
			一般財源	0	15,183	5,900	成果・費用とも維持	成果・費用とも維持
			合計	0	36,583	58,500		
			(内 会計年度任用職員人件費)					
	都市整備課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.54	0.67	0.50		

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性

ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	なし
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし
	縮小事業の方向性や内容	なし
R8年度の町が取り組むべきことの方向性		<input type="checkbox"/> 最優先 <input checked="" type="checkbox"/> 優先 <input type="checkbox"/> 維持

15-2 快適な住環境を整える 《重点取組》		所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 公園の適正管理や公共交通の利便性向上など快適な住環境の整備 23 位 / 51 位		都市整備課
町が取り組むべきこと	①町の都市計画の基本方針を定めた「志免町都市計画マスタープラン」に基づき、各地域の特性にあった土地利用を促進します。 ②新たな開発事業による住環境の悪化を防ぐため、「志免町開発事業指導要綱」に基づく協議により事業者に対し適切に指導します。 ③公園の適正管理により、緑豊かな環境の創造と安心して利用できるスペースの提供を行います。 ④快適な暮らしと町内の衛生環境を保つため、下水道施設を計画的に更新するとともに、下水道事業の健全な経営を行います。 ⑤町内公共施設などを利用する際の利便性向上のため、地域公共交通に係る専門部署を設けて、巡回バスを運行するとともに、時代やニーズにあった町内の交通手段について調査、研究します。【総合戦略】 ⑥高齢化がすすむ戸建ての住宅団地において、多世帯住宅や平屋住宅、バリアフリー住宅を建築しやすくするなど、時代と地域特性にあった建築規制の見直しを行います。【総合戦略】	
主な取り組み状況	・用途地域変更に伴い、福岡県と都市計画審議会に諮り審議し、令和7年4月に告示した。また、志免町における各種都市機能の立地状況調査を行い、不足している施設等を把握した。 ・「のーと志免」を年間289日運行し、22,281人が利用した。 ・地域公共交通会議を開催し、令和6年度の「のーと志免」2台増車の合意形成を行った。	
課題	・都市計画道路の整備が進められていること等により、市街化調整区域における開発圧力が高まっている。 ・「のーと志免」を利用したい時間に偏りがあり、予約をとりづらい時間がある。	
R8年度取り組み方針	・市街化調整区域において、新たな土地利用転換を図る区域を対象に、今後の土地利用の方向性や事業化に向けて、望ましい土地利用のための基礎的検証、整備手法について協議を行い、適切な土地利用を提案する。 ・「のーと志免」の安定的で効率的な運行のため、関係事業者と連携による町にあった運行システムや運行シフトなどの調整やあらゆる広報媒体を活用して利用方法や乗降場所などの啓発を行う。	
町が取り組むべきことの達成状況		
<input checked="" type="checkbox"/>	町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どりの成果をあげている	
<input type="checkbox"/>	町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない	
<input type="checkbox"/>	町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない	

構成する事務事業(評価対象事業のみ)									
番号	事務事業名		事務事業評価(転記)					施策評価	
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性
				R5 決算	R6 決算	R7 予算			
1	地域公共交通会議運営事業		特定財源	0	0	0	D	—	D
	デマンド交通の実証運行など今後の最適な公共交通について検討をするため、地域公共交通会議を設置して、交通関係者による協議を行う。		一般財源	58	20	53	成果・費用とも維持		成果・費用とも維持
			合計	58	20	53			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
	経営企画課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.29	0.22	0.27		
2	オンデマンドバス運行事業		特定財源	59,748	11,249	27,898	D	—	D
	町民の日常生活に必要な交通手段の確保と町内移動の利便性向上のため、デマンド型交通の運行を行う。		一般財源	1,910	43,144	57,941	成果・費用とも維持		成果・費用とも維持
			合計	61,657	54,393	85,839			
			(内 会計年度任用職員人件費)			(2,227)			
	経営企画課		一般会計	関与 正職員数(人)	1.95	1.70	0.95		
3	都市計画事務		特定財源	0	162	8,100	A	◎	A
	町の都市計画に沿った土地利用を推進する取組を行う。		一般財源	3,777	6,064	2,584	成果拡充・費用拡大		成果拡充・費用拡大
			合計	3,777	6,226	10,684			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
	都市整備課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.66	0.87	1.17		
4	国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会事業		特定財源	0	0	0	D	—	D
	国鉄志免炭鉱跡地の管理が適正に行われるよう、粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理協議会を3町で2年ごとの輪番により運営する。		一般財源	597	1,091	1,200	成果・費用とも維持		成果・費用とも維持
			合計	597	1,091	1,200			
			(内 会計年度任用職員人件費)						
	都市整備課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.40	0.39	0.38		
5	公園管理事業		特定財源	5,480	15,886	37,950	D	—	D
	町民が公園広場を安全で快適に利用できるよう、公園内の樹木管理や遊具の点検、修繕等の管理を行う。		一般財源	155,132	197,584	181,279	成果・費用とも維持		成果・費用とも維持
			合計	160,612	213,470	219,229			
			(内 会計年度任用職員人件費)		(13,775)	(19,919)			
	都市整備課		一般会計	関与 正職員数(人)	0.93	1.52	1.67		
6	吉原防災ふれあい広場維持管理事業		特定財源	-	0	0	D	—	D
	吉原防災ふれあい広場の維持管理を行い、町民が安全で快適に利用できるよう、芝生管理や遊具の点検、修繕等の管理を行う。		一般財源	-	1,109	0	成果・費用とも維持		成果・費用とも維持
			合計	-	1,109	0			
			(内 会計年度任用職員人件費)		-				
	生活安全課		一般会計	関与 正職員数(人)	-	0.37	0.00		
町が取り組むべきことを構成する事業の方向性									
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし							
	拡充事業の方向性や内容	【都市計画事務】市街化調整区域において、新たな土地利用転換を図る区域を対象に、今後の土地利用の方向性や事業化に向けて、望ましい土地利用のための基礎的検証、整備手法について協議を行い、適切な土地利用を提案する。							
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし							
	縮小事業の方向性や内容	なし							
R8年度の町が取り組むべきことの方向性			<input checked="" type="checkbox"/>	最優先					
			<input type="checkbox"/>	優先					
			<input type="checkbox"/>	維持					

15-3 安全な水を安定的に供給する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 安全な水の安定供給 1位 / 2位	上下水道課

町が取り組むべきこと	①安心して飲める水を安定して供給するため、水道施設を計画的に更新するとともに、水道事業の健全な経営を行います。
主な取り組み状況	・配水管を耐震性のあるものに順次更新するなど水道事業ビジョンに基づいた計画的な施設更新を実施した。また、新規水源(御笠川深井戸)に揚水ポンプの整備を行った。
課題	・管路の耐震化率は同規模事業体と比較して低い水準にある。
R8年度取り組み方針	・水道水の安定供給のため、健全な水道事業経営を行うとともに、老朽化施設の更新や耐震化工事、水源の確保を進める。

町が取り組むべきことの達成状況

- ☒ 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どりの成果をあげている
☐ 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない
☐ 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない

構成する事務事業(評価対象事業のみ)

番号	事務事業名		事務事業評価(転記)				施策評価	
	事務事業の概要		経費区分	事業費(千円)			今後の方向性	優先度 施策評価での方向性
	担当課	会計区分		R5 決算	R6 決算	R7 予算		
1	※評価対象事業なし		特定財源					
			一般財源					
			合計					
			(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)					

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性

ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	なし
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし
	縮小事業の方向性や内容	なし
R8年度の町が取り組むべきことの方向性		
<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持		

3. 施策の総括と今後の展開

施策の成果指標達成度について、「狭小な土地分譲の割合」、「身近な公園や広場の利用しやすさに満足している町民の割合」及び「給水制限や断水の発生日数」は目標を達成したが、「自宅周辺の身近な道路の利用しやすさに満足している町民の割合」及び「巡回バスの利用者数」は目標を下回った。
 道路、橋梁、交通安全施設、都市計画、公園等については、各方針・計画に基づき事業を推進していき、オンデマンドバスについては、安定した事業運営を行う。また、上下水道事業については、引き続き健全な経営に努めていく。

4. 施策の進行状況

- ☐ 目標に向かって順調に進んでいる
☒ 目標に向かってある程度順調に進んでいる
☐ 目標に向かってあまり進んでいない
☐ 目標に向かって進んでいない

事務事業評価表（事業実施年度：令和 06 年度）

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0515202
事務事業名		地域公共交通会議運営事業		担当課	経営企画課	担当係	政策推進係
総合計画 画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算 科目	会計 01	一般会計	
	取り組み方針	15-2	快適な住環境を整える		款 02	総務費	
					項 03	企画費	
					目 01	企画総務費	
根拠法令条例等			個別計画				
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 R 4 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度					

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		㊦ 地域公共交通会議	回数	5	1	3
		㊦				
		㊦				
②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	町内の地域公共交通に関する方針等の合意形成が行われる					
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	地域公共交通会議の開催を行う (開催通知、資料準備、議事要旨作成、委員報酬支払等)				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	地域公共交通会議実施回数	回	目標 3 実績 4	1 1	3	100.0%
イ	成果	オンデマンドバス運行に係る運行体系等の合意形成	回	目標 1 実績 1	1 1	3	100.0%
ウ				目標 実績			
エ				目標 実績			
オ				目標 実績			
カ				目標 実績			

(3) 総事業費の推移

		財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
事業費	経費	特定 国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
		財源 その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	58	53	20	53	
		合計(A)	58	53	20	53	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)		2,124	2,149	1,642	2,596	
	トータルコスト(A) + (B)		2,182	2,202	1,662	2,649	
関与職員数(単位:人)		正職員	0.29	0.27	0.22	0.27	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
高齢化が進行する中で、将来の日常生活での移動手段の確保に不安な住民が増えており、町内のそういった地域からはオンデマンドバスの導入の検討を求める要望書が提出された。それに伴い、町の公共交通として、予約に応じ運行する「デマンド型交通(区域運行)」の導入を検討するための材料として実証実験を実施するに当たり、公共交通関係者による検討・協議を行い、合意形成を図る、地域公共交通会議を設置するために事業を開始した。	地域住民の高齢化や、町内の主要道路の慢性的な渋滞により、町内移動について様々な要望が挙がっている。町運営の福祉巡回バスについても、新バス停の設置や増便、ルート変更などの要望が挙がっており、現状の志免町の交通について不満を感じている人が多くなっている。	特になし。

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町内の公共交通の現状とこれからについて協議し、今後の方針が決まることで、利便性の向上につながると考えられるため。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画及び総合戦略の「時代やニーズに合った町内の交通手段について調査、研究します」に直結するため。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	自治体が運営する交通体系についての議論の場であるため、自治体が主体で取り組むべき事業である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	令和5年度中には、書面開催を含む計4回の会議を実施し、オンデマンドバスの設定に関する協議について承認をいただけたので、期待する成果を得られたと言える。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	新しい交通事業の導入、附随事項の決定などには、地域公共交通会議での合意が必要になるため。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	新しい交通事業の導入、附随事項の決定などには、地域公共交通会議での合意が必要になるため。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	会議委員との連絡、交通事業者との打ち合わせなど、必要最低限の人数で対応している。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	会議実施後に発生する報償費は最低限であり、削減の余地はない。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	会議体の運営自体についての国・県からの補助はなく、受益者には負担が発生していないため適正である。				
分析・検証結果	有効性・効率性		妥当性				分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)
			0点	1点	2点	3点	
		いずれか0点	d	c	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a		
合計6点	c	b	a	a			
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
	D		成果・費用とも維持				コストの方向性(一般財源・関与職員数)

事務事業評価表（事業実施年度：令和 06 年度）

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0515203
事務事業名		オンデマンドバス運行事業		担当課	経営企画課	担当係	政策推進係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	15-2	快適な住環境を整える		款		
					項		
	根拠法令条例等			個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 R 5 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度					

1 計画・実施 (PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		㊦ 町民	人	46,588	46,342	46,342
		㊦				
		㊦				
事業内容	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	町内を移動しやすくなる				
		オンデマンドバス「のーと志免」の運行を行う。 【運行エリア】町内全域 【運行時間】月～土曜日 8:30～18:30※日、祝日及びお盆、年末年始運休 【車両】3台運行/定員9名【運賃】大人200円 小学生100円 など ・関係事業者とのシステム要件などの協議 ・運行開始にかかる説明会の実施				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動					

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	年間利用者数	人	目標 200	29,000	28,900	76.8%
				実績 1,216	22,281		
イ	活動	運行日数	日	目標 26	290	289	100.0%
				実績 26	290		
ウ	成果	利用者満足度	%	目標 70	70	70	42.9%
				実績 95	30		
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定	国・県支出金、地方債	30,556	9,027	8,908	10,000	
経費	財源	その他特定財源	29,191	0	2,341	17,898	
		一般財源	1,910	44,281	43,144	57,941	
		合計(A)	61,657	53,308	54,393	85,839	53,308
		(内 会計年度任用職員人件費)			(2,227)	(3,141)	
		正職員人件費[按分](B)	14,294	13,134	12,713	9,154	
		トータルコスト(A)+(B)	75,952	66,442	67,106	94,993	
関与職員数(単位:人)			正職員	1.95	1.65	1.70	0.95

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 運行していた福祉巡回バスは故障も多く、更新時期に入っており、また利用者からは便数やバス停の追加、利便性の向上など要望が増え、定時定路線の状態では要望に応えることができないため、新しい公共交通について検討し、導入に至った。	②事務事業を取り巻く環境の変化 志免町内に住む人のライフスタイルは多様化しており、自家用車がなく移動手段を持たない人も出てきており、通院・買い物等生活に関わる目的で交通を利用する方が不便さを感じている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 ・仕組みが難しい ・アプリの操作が困難 ・町外のショッピングモールや空港に乗り入れてほしい など、意見・要望は多数寄せられている。
--	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	旧バスでは、運行途中で乗客0人「空気を運ぶ」状況が発生していたが、利用需要に応じて運行を行うため、ニーズにあった交通を運行できている。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	巡回バスの運行の目的は、町内移動の利便性向上であり、総合計画に合致している。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	西鉄バス等民間事業者の運行がない地域について、自家用車等他の移動手段が無い町民等の移動手段の確保は自治体が担う必要があるため。				
	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	当初見込んでいた平均乗車人数を下回っており、今後成果の向上に向けて取り組む必要がある。				
有効性	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	オンデマンドバスは対象者を限定せず、すべての町民が利用可能であるため、適切である。	2			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	移動の需要に応じた運行形態であり、適切である。				
	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	バスの運行自体は、依頼したタクシー会社が運行しており、修繕や点検などの対応についても依頼先が対応するため、効率的である。				
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	軽油価格の上昇や物価高騰で経費は年々上昇しているが、安全な運行に必要な経費であり、削減することは望ましくない。				
効率性	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	基本乗車料金を有料にしており、受益者負担となっている。また、事業に関する補助として、国・県から補助を受けている。	3			
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)		
			0点	1点	2点	3点	令和6年4月から、町が運営する公共交通はオンデマンドバスのみになり、システムやシフトの調整を行いながら、10月まで順調に利用者が増えていった。月々少しずつではあるが登録者数も増えてはいたが、11月以降の利用状況は平行しており、システム事業者の試算では、現状の3台運行における一日平均乗車人数の上限値に到達してしまっているとのことである。 今後は目的地が同じ方面の近隣の方々と乗り合わせでの予約勧奨や運行上の適切なシステム設定などを行い、効率的に多くの方が乗車できる体制構築を行い、利用向上・満足度向上に努めたい。 令和7年度予算として車両増車の予算が承認されたため、令和7年度途中から運行台数5台体制で事業を進めていく。試算上、150人/日が達成できる見込みであるため、到達できるようシステム改善や広報活動に取り組んでいきたい。 また、令和6年度中に車載サイネージの広告掲載に関する制度を制定し、令和7年度中に乗降場所名のネーミングライツや、オンデマンドバス車体に掲載する広告制度の制定を予定しているため、運賃収入外の町としての収入源の一部となるよう、体制を整える。
	有効性・効率性	いづれか0点	d	c	c	c	
		いづれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
	a		業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)		
		皆減	縮小	維持	拡大			
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B			A
		維持		E	D			
		縮小		F				
		休廃止	G					
	D		成果・費用とも維持				コストの方向性(一般財源・関与職員数)	

事務事業評価表（事業実施年度：令和 06 年度）

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1214306
事務事業名		吉原防災ふれあい広場維持管理事業		担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	15-2	快適な住環境を整える		款	08	土木費
					項	05	都市計画費
					目	02	公園管理費
根拠法令条例等			個別計画				
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 R 6 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度					

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		㊦ 町民	人	-	46,342	46,342
		㊦ -	-	-	-	-
		㊦				
		吉原防災ふれあい広場の維持管理を行い、町民が安全で快適に利用できるようにする。				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	芝生管理や遊具の点検、修繕等の広場の管理を行う。				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	広場清掃日数(予定)	日	目標	-	157	100.0%
				実績	-	157	
イ	活動	遊具修繕件数(予定)	件	目標	-	1	100.0%
				実績	-	1	
ウ	成果	管理不足に起因する事故件数(予定)	件	目標	-	0	
				実績	-	0	
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	特定 国・県支出金、地方債	-		0	0	
		財源 その他特定財源	-		0	0	
		一般財源	-		1,109	0	
		合計(A)	-		1,109	0	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)		-		3,569	0	
	トータルコスト(A)+(B)		-		4,678	0	
	関与職員数(単位:人)				0.37	0.00	
	正職員		-				

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 吉原地域活性化整備基金条例、吉原地域活性化委員会設置条例に基づく、吉原地域活性化委員会からの提言により、広場の整備を行うもの。	②事務事業を取り巻く環境の変化 整備に伴い、田から広場へ用途が変更になったため、周辺住民の住環境の変化が生じた。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 一部のマナーの欠けた広場の利用者により、周辺町民から騒音問題に伴う苦情を寄せられている。
---	---	--

事務事業評価表（事業実施年度：令和 06 年度）

事務事業名 吉原防災ふれあい広場維持管理事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	広場を維持管理することで良好な住環境及び快適な都市基盤の整備が確保できる。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	広場を安全で快適に利用できるようにすることは、上位施策の成果指標である「公園や広場の利用しやすさに満足している町民の割合」の向上に直結するため。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画に掲げる町が取り組むべきことである「快適な住環境を整える」ことにつながるため。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	管理不足に起因する事故件数がなく、遊具等の点検を適切に行い期待する成果が得られている。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	広場の維持管理を行い、町民が安全で快適に利用できるようにするため、町民を対象にすることは適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	芝生管理や遊具の点検、修繕等の広場の管理を行うことは、町民が安全で快適に利用できるようにするため、適切である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	専門業者に業務委託を行うことで、最小の事務量で事業を実施しており、効率的である。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	広場の維持管理を行い、町民が安全で快適に利用できるようにするため、必要なコストである適切である。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	広場の維持管理に関しては、現状対象となる補助等はない。				
分析・検証結果			妥当性				吉原防災ふれあい広場が開設し、管理1年目ということで、手探りの中、町民の方に安全で快適に利用していただくため、日々施設の点検、トイレ清掃、施設の清掃、迷惑行為の注意などを実施した。しかしながら、一部の利用者のマナー欠落から、利用規約を遵守せず、騒音に対する苦情が周辺町民より、町へ寄せられた。町民の方に安全で快適に利用していただくため、今後も利用者のマナー啓発に努めていく。また、令和7年度から広場の管理を生活安全課から都市整備課へ移管することとなり、この事務事業は公園管理事業に統合されることになるため、廃止とする。
			0点	1点	2点	3点	
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充	C	B	A		
	維持	E	D				
	縮小	F					
	休廃止	G					
D		成果・費用とも維持				コストの方向性(一般財源・関与職員数)	

事務事業評価表（事業実施年度：令和 06 年度）

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1315102
事務事業名		道路維持管理事業		担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画 体系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	15-1	安全で便利な道路環境を整える		款	08	土木費
					項	02	道路橋梁費
					目	02	道路維持費
根拠法令条例等		道路法、志免町道路管理条例、道路交通法、屋外広告物法、福岡県屋外広告物条例		個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 町道	m	156,954	157,110	157,251
		⑧				
		⑨				
事業内容	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・円滑に道路通行ができる				
	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	町道における事故防止と災害時等の迅速な対応ができる体制の整備と各種専門業者(舗装、樹木管理、土木等)と年間契約を結び、町道の維持管理を行う ・日常パトロールや通報等による職員での修繕 ・各種契約事務(舗装工事、樹木管理、草刈、道路違法広告物など)				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	道路補修箇所数	箇所	目標 90	90	90	62.2%
				実績 43	56		
イ	活動	樹木管理本数	本	目標 1,000	989	980	99.1%
				実績 989	980		
ウ	活動	草刈面積	m2	目標 64,000	64,000	72,000	111.6%
				実績 65,840	71,419		
エ	成果	管理不足が起因となる事故件数	件	目標 0	0	0	
				実績 3	0		
オ	成果	道路補修箇所数(発見数)の補修率	%	目標 100	100	100	100.0%
				実績 100	100		
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります			05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
事業費	経費	特定 国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
		財源 その他特定財源	2	10	2	10	
		一般財源	106,948	136,227	147,028	98,410	
		合計(A)	106,950	136,237	147,030	98,420	142,213
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	3,238	9,294	8,434	12,496	
		トータルコスト(A) + (B)	110,188	145,531	155,464	110,916	
		関与職員数(単位:人)	正職員	0.47	1.11	1.11	1.47

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 道路舗装整備率の高まりと人口や交通量の増加による道路維持管理に対する要望が強くなってきたため、本事業が開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 本町の人口増をはじめ隣接市町の人口も増加し、通行車両の増加とともに道路の老朽化も進んでいる。さらには、本格的な舗装改良工事も財政面から先送りされる事が多いため、本事業の必要性が増大している。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 舗装は応急的ではなく抜本的な整備。道路樹木は落葉処理と大がかりな剪定。草刈は迅速な対応が求められている。
---	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町道を円滑に通行できる状態にすることで快適な住環境が整った町づくりを実現できる	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	道路法、志免町道路管理条例に沿って道路環境を整えているため妥当である。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	公共の道路のため自治体が主体となり管理を行う必要がある				
	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	道路の修繕箇所の早期発見、対応により、期待する成果が得られている。				
有効性	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	道路や法面等、公共の管理地を対象としているため適切である	3			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	舗装はパトロール等の結果から優先度をつけ順番に修繕を行っている。草刈や樹木は住民からの情報共有やパトロール等の際に随時対応を行っている				
	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	職員同士で情報共有等を行い随時対処しており、効率的に行っている。				
効率性	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	職員数は必要最小限で行っているため削減余地なし	3			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活用できる補助金等はないため適切である				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)		
			0点	1点	2点	3点	舗装に関しては町内全体的に劣化しているため優先度の見直し等を行い計画的に修繕し続ける必要がある。樹木や草刈は今年度も主な苦情の原因となっている。自主的に伐採を行っていた住民の方々の高齢化もあり、年々作業箇所が増加している。箇所によっては大規模な防草対策等も必要となる。
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
	合計6点	c	b	a	a		
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
	D		成果・費用とも維持				コストの方向性(一般財源・関与職員数)

事務事業評価表（事業実施年度：令和 06 年度）

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1315103
事務事業名		道路新設改良事業		担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画 体系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	15-1	安全で便利な道路環境を整える		款	08	土木費
					項	02	道路橋梁費
					目	03	道路新設改良費
根拠法令条例等		道路法、志免町道路管理条例		個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度					

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 整備(工事)が必要な町道箇所	箇所	3	3	6
		⑧				
		⑨				
事業内容	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・必要な整備(工事)が行われる				
		③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動 道路の現状や町民の方、町内会からの要望等により、道路の新設や改良を行う ・現地調査の実施、施工方法の検討、設計積算 ・工事契約事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア 活動	工事実施箇所数	↑	件	目標 4	3	6	133.3%
				実績 3	4		
イ 成果	整備実施率(工事実施箇所数/整備[工事]が必要な箇所数)	↑	%	目標 100	100	100	133.3%
				実績 75	133		
ウ				目標			
				実績			
エ				目標			
				実績			
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定	国・県支出金、地方債	24,700	0	0	39,000	
経費	財源	その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	44,691	47,654	59,715	77,504	
		合計(A)	69,391	47,654	59,715	116,504	100,620
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	8,424	8,450	7,669	10,375	
		トータルコスト(A)+(B)	77,815	56,104	67,384	126,879	
関与職員数(単位:人)		正職員	1.22	1.01	1.01	1.22	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 市街化が進むにつれ、人口と交通量の増加による道路整備に対する要望が強くなってきたため、本事業が開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 本町および隣接市町の人口増加に伴い、通行車両も増加し道路の老朽化も進んでいるため、本事業の必要性が増大している。国からの補助金等にも注視している。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 町民より道路拡幅を含む改良工事が望まれている。
---	--	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町内の良好な道路機能を確認することを目的に、道路の新設や改良工事を行うことで、快適な住環境が整った街づくりにつながるため。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町民からの要望や渋滞緩和、交通の利便性の向上を目的に、道路拡幅や歩道の整備などを行うため。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	公衆用道路という生活基盤を対象とし、誰もが通行する良好な道路機能を維持することを目的としているため。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	財政上の問題で大規模な改良工事はできないが、国庫補助事業を含め予算確保ができれば成果は確実に向上する。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要箇所を選定している。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現時点では、最適工法での実施に努めている。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	法令等遵守し、限られた職員にて事業実施している。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	限られた予算であるため、現場状況を吟味して優先順位をつけ工事を実施している。引き続き、国庫補助事業の活用やコストが抑えられる工法などを採用する。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国庫補助事業および、公共施設等適正管理推進事業債(公適債)等により予算を確保し、優先順位に基づき計画的に改良工事を実施している。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)		
			0点	1点	2点	3点	限られた予算であるため、現場状況を吟味して優先順位をつけ工事を実施した。引き続き、国庫補助事業の活用やコストが抑えられる工法なども検討していきたい。
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
			合計6点	c	b	a	a
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
			コストの方向性(一般財源・関与職員数)				
		D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表（事業実施年度：令和 06 年度）

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1315104
事務事業名		橋梁維持管理事業		担当課	都市整備課
担当係		都市整備係			
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	会計	01 一般会計
	取り組み方針	15-1	安全で便利な道路環境を整える	款	08 土木費
				項	02 道路橋梁費
				目	04 橋梁維持費
根拠法令条例等			個別計画		
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 22 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度			

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 志免町が管理する橋梁	橋	87	87	87
		⑧				
		⑨				
事業内容	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・安全かつ円滑に通行できる				
		事故防止、災害時等の迅速な対応ができる体制整備と点検等の維持管理を行う ・日常パトロールや定期点検による修繕の実施 ・各種契約事務(補修工事、点検、調査など)				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動					

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	パトロール実施回数	回	目標 12	12	12	100.0%
				実績 12	12		
イ	活動	老朽化対策設計数	橋	目標 0	0	0	
				実績 0	0		
ウ	活動	老朽化対策工事数	件	目標 3	2	1	100.0%
				実績 3	2		
エ	成果	管理不足が原因の事故件数	件	目標 0	0	0	
				実績 0	0		
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定	国・県支出金、地方債	13,200	34,650	34,650	29,700	
経費	財源	その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	12,842	30,555	29,928	26,500	
		合計(A)	26,042	65,205	64,578	56,200	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	2,687	4,942	4,484	5,017	
		トータルコスト(A)+(B)	28,729	70,147	69,063	61,217	
関与職員数(単位:人)			正職員	0.39	0.59	0.59	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 町内の橋梁は老朽化が急速に進んでいる。このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費のコスト削減を図るため、点検を含む維持管理業務を行い、橋梁の長寿命化を図り道路網の安全性・信頼性を確保する。	②事務事業を取り巻く環境の変化 日本全土で橋梁維持管理の重要性がクローズアップされている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 国や県等より橋梁老朽化対策等を進めるように指示あり。
--	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	事故防止と災害時等の迅速な対応ができる体制を整えておくと共に、車輛や歩行者の安全かつ円滑な交通を図るため、点検を含む維持管理を行うことで、快適な住環境が整ったまちづくりにつながる。	3		
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	将来にわたって快適な住環境を整ったまちを実現するには、安全で便利な道路環境を整える必要があるため。			
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	道路橋梁は自治体の管理物であるため、妥当である。			
	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	志免町橋梁個別施設計画に基づき、修繕が必要な橋梁を選定し対策を行っているため効率よく成果を上げることができている。			
有効性	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	志免町橋梁個別施設計画に基づき、修繕が必要な橋梁を対象にしている。	3		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	志免町橋梁個別施設計画に基づき、最も有効な手段を選定している。			
	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	専門知識を持った業者に業務委託を行うことで、最小の事務量で済ませている。			
効率性	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	設計等の業務委託のなかで、修繕方法の比較検討を行い、最も適正な方法で対策を実施している。	3		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国の補助金を活用している。			
分析・検証結果			分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
			国庫補助事業による橋梁補修工事を行った。維持の重要性を再認識し、計画の推進に努めていきたい。			
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c
		いずれか1点	c	c	c	c
		合計4点	c	c	b	b
		合計5点	c	b	b	a
		合計6点	c	b	a	a
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
	D		成果・費用とも維持				コストの方向性(一般財源・関与職員数)

事務事業評価表（事業実施年度：令和 06 年度）

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1315105
事務事業名		交通安全施設整備・維持管理事業		担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画 体系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	15-1	安全で便利な道路環境を整える		款	08	土木費
					項	02	道路橋梁費
					目	06	交通安全施設整備費
根拠法令条例等			個別計画				
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 58 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度					

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		㊦ 道路転落等危険対象箇所(全数)	箇所	181	181	100
		㊧ 交通安全プログラム対象箇所(全数)	箇所	93	79	79
		㊨				
事業内容	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・歩行者、自転車及び自動車の安全確保が行われ、交通事故が起こらない				
		③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動 町内会からの要望や道路パトロール、交通安全プログラムなどに基づいて、交通安全施設(ガードレール、カーブミラー、区画線、横断防止柵、転落防止柵、道路照明等)の整備を行う ・道路パトロール、整備箇所の検討、整備箇所の設計 ・契約事務				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき方向性	単位		05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	交通安全施設整備数(転落防止柵、横断防止柵)	↑	m	目標	210	430	280	101.4%
					実績	171	436		
イ	活動	交通安全施設整備数(道路照明[新設])	↑	灯	目標	0	0	0	
					実績	0	0		
ウ	活動	交通安全施設整備数(カーブミラー)	↑	箇所	目標	0	0	0	
					実績	1	1		
エ	活動	既存施設復旧件数	↑	件	目標	50	60	60	116.7%
					実績	50	70		
オ	成果	対策箇所数(道路転落等危険対象箇所)	↑	箇所	目標	1	2	2	100.0%
					実績	1	2		
カ	成果	対策箇所数(交通安全プログラム対象箇所)	↑	箇所	目標	5	15	64	100.0%
					実績	5	15		

(3) 総事業費の推移

		財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
事業費	経費	特定 国・県支出金、地方債		7,885	11,000	7,576	9,500	
		財源 その他特定財源		10,181	13,800	13,334	16,115	
		一般財源		24,163	16,234	21,035	28,274	
		合計(A)		42,229	41,034	41,944	53,889	41,034
		(内 会計年度任用職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)		10,489	8,544	6,988	8,675	
		トータルコスト(A) + (B)		52,718	49,578	48,932	62,564	
関与職員数(単位:人)		正職員	1.52	1.02	0.92	1.02		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 交通量の増加、交通事故を撲滅するため、交通安全特別交付金が昭和58年から交付されるようになったことによる。	②事務事業を取り巻く環境の変化 近年における通学路での事故を受けて、通学路における安全対策の要望が増加している。 また、主要道路以外の生活道路等において、自動車に対するスピード抑制の対策の要望が増加している。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 毎年次のような要望が町内会等から寄せられている。 ・見通しの悪い交差点に新規カーブミラーの設置 ・自動車のスピード抑制 ・歩行者の安全対策
---	--	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	交通安全上の危険がある箇所について、安全確保され、交通事故が防止されることは快適な住環境の整ったまちづくりにつながる。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	地元要望や通学路合同点検の結果に基づいた内容であるため、適切である。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	公共の道路における交通安全施設の整備であり、町が実施すべき事業である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	交通安全プログラムに基づき、計画的に対策を実施しているため、期待する成果を得られている。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	地元要望や通学路合同点検の結果に基づいた内容であるため、対策の対象としては適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	地元要望や通学路合同点検の結果に基づき対策を行っているため、住民のニーズに沿っており最も有効な手段であると考ええる。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	要望箇所の拾い上げ作業は、町内会および、各小中学校が行うなどし、業務の効率化を行っている。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	交通安全プログラムのなかで最もコストパフォーマンスが高い対策を検討しているため、適切である。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	交通安全特別交付金も活用しており、適正である。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など) 交通安全プログラムや令和3年度緊急工事合同点検の結果及び、道路転落等危険箇所対策計画等に基づき、優先度に応じた効率的な対策を実施することができた。		
			0点	1点		2点	3点
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c		c	c
		いずれか1点	c	c		c	c
		合計4点	c	c		b	b
		合計5点	c	b		b	a
		合計6点	c	b		a	a
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
	D		成果・費用とも維持				コストの方向性(一般財源・関与職員数)

事務事業評価表（事業実施年度：令和 06 年度）

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1315107
事務事業名		都市計画道路志免宇美線建設事業		担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計		
	取り組み方針	15-1	安全で便利な道路環境を整える		款		
					項目		
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 年度より開始 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(複数年) H 25 年度～ R 8 年度					

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 都市計画道路志免宇美線(計画決定区間[志免町内])	m	1,700	1,700	1,700
		⑧				
		⑨				
事業内容	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・遅滞なく建設事業が行われる				
	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	福岡県が事業主体である都市計画道路志免宇美線(幅員25m)の早期完成に向けた取組を行う ・志免宇美線調整会議(福岡県、志免町、宇美町)への参加 ・負担金支払事務				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	調整会議参加回数	回	目標 3	3	3	200.0%
				実績 3	6		
イ	成果	事業認可区間(志免町内)	m	目標 820	820	820	100.0%
				実績 820	820		
ウ	成果	用地買収進捗率(筆数ベース)	%	目標 100	100	100	91.0%
				実績 88	91		
エ	成果	工事進捗率	%	目標 30	55	60	103.6%
				実績 30	57		
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経	費					
	特定	国・県支出金、地方債	0	44,700	21,400	52,600	
	財源	その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	5,133	15,183	5,900	
		合計(A)	0	49,833	36,583	58,500	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	3,731	5,611	5,092	4,256	
		トータルコスト(A)+(B)	3,731	55,444	41,675	62,756	
関与職員数(単位:人)			正職員	0.54	0.67	0.67	0.50

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 本路線は、都市計画道路であり宇美町内の工区も完成に近づいたことから、志免町内の次期工区について事業の実施が必要となったため。	②事務事業を取り巻く環境の変化 主要地方道福岡太宰府線において、慢性的な渋滞を改善させ、歩行者の安全と良好な沿道環境を確保することに加え、災害時の緊急事態に対応できる道路網整備のニーズが高まっている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 地域住民においても交通事情の改善について非常にニーズが高い。
--	---	--

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	都市計画道路志免宇美線が遅滞なく事業が行われることは、道路の利便性の向上につながり、快適な住環境が整ったまちの実現に直結する。	3		
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画に掲げる町が取り組むべき「安全で便利な道路環境を整える」という方針に合致し、適切である。			
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免宇美線は公共の道路である。事業主体は県であるものの都市計画道路の設定は町にて行っているため町の関与は必要である。			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	関係機関とより綿密な協議を行い連携することで成果向上余地はある。	2		
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	都市計画道路であり、より良い交通環境の整備を目的としており妥当である。			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	調整会議に参加し早期完成に向けて取り組む事で遅滞なく事業が行われるため手段は適切である。			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	県と実施する協議等について最低限の人員で対応しており見直しの余地はない。	3		
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	基準に基づくものであり、町が負担する投入コストは適正である。			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事業主体は県であるが、一部は町の負担が必要である。町が負担する財源については町の予算を確保する事が適切である。			
分析・検証結果			分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
			令和6年度は、過年度に引き続き福岡県による用地買収、また、それに伴う用地測量、補償調査、工事等が実施された。早期完成に向けて、福岡県と連携し事業の推進に努める。			
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c
		いずれか1点	c	c	c	c
		合計4点	c	c	b	b
		合計5点	c	b	b	a
		合計6点	c	b	a	a
a	業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)		
		皆減	縮小	維持	拡大			
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B			A
		維持		E	D			
		縮小		F				
		休廃止	G					
	D		成果・費用とも維持				コストの方向性(一般財源・関与職員数)	

事務事業評価表（事業実施年度：令和 06 年度）

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1315202
事務事業名		都市計画事務		担当課	都市整備課	担当係	都市計画係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	15-2	快適な住環境を整える		款	08	土木費
					項	05	都市計画費
					目	01	都市計画総務費
根拠法令条例等		都市計画法		個別計画	志免町都市計画マスタープラン		
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 45 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度					

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		㊦ 都市計画区域(志免町全域)	km2	9	9	9
		㊦				
		㊦				
事業内容	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・都市計画に沿った土地利用が行われる				
		③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動 都市計画に沿った土地利用を推進する取組を行う ・都市計画に関する調書の作成、法定手続き事務、都市計画審議会運営事務 ・都市計画図の管理、販売				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	都市計画に関する法定手続き事務件数	件	目標 1	1	1	100.0%
				実績 0	1		
イ	活動	都市計画審議会開催回数	件	目標 3	3	3	66.7%
				実績 1	2		
ウ	成果	市街化調整区域の市街地形成面積	m2	目標 0	0	0	
				実績 0	0		
エ	成果	既成市街地用途転換面積	m2	目標 12,600	14,000	14,000	
				実績 0	0		
オ				目標			
				実績			
カ				目標			
				実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
経費	財源	その他特定財源	0	0	162	8,100	
		一般財源	3,777	8,195	6,064	2,584	
		合計(A)	3,777	8,195	6,226	10,684	2,577
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	4,552	8,544	6,611	9,940	
		トータルコスト(A)+(B)	8,330	16,739	12,837	20,624	
関与職員数(単位:人)			正職員	0.66	1.02	0.87	1.17

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、昭和43年に都市計画法が施行された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 なし	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 住民から市街化調整区域の地区計画の策定と、用途地域変更の要望が寄せられている。
---	-----------------------	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	地域の特性にあった土地利用を促進することで、上位計画である志免町都市計画マスタープランに掲げられた将来都市像の実現につながる。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町都市計画マスタープランに掲げられた将来都市像が実現すれば、第6次志免町総合計画基本目標5の環境にやさしく快適に暮らせるまちにつながる。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	都市計画は各自治体により定められる。しかしながら決定までには住民の意見を十分に伺う必要がある。				
	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	都市計画マスタープランに沿った形で線引き見直しや用途地域の変更が行われることにより、成果が向上する。				
有効性	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	都市計画法で規定する都市計画区域が、志免町全域で指定されているため。	2			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	都市計画法で定められた手続き等を行っているため。				
	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現在の事務従事時間は必要最低限であり、削減の余地はない。				
効率性	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現在の予算は必要最低限であり、削減の余地はない。	3			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	都市計画に関することは、上位計画の施策をおこなっていく上でも重要であり、財源を確保することは必要である。また、都市計画に関することは多岐にわたるため、その使途によって、特定財源を活用できるものもある。				
	分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
分析・検証結果	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	当事務事業のほとんどが法定事務のため町の業務としては必須である。令和6年度は、第一種低層住居専用地域における建築規制緩和及び石橋台用途地域変更について、都市計画審議会に諮り審議し、福岡県との法定協議を終え、令和7年4月に告示する予定である。また、志免町における各種都市機能の立地状況調査を行い、不足している施設等を把握した。令和6年度に実施した内容をもとに、令和7年度においても継続して推進する。
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
		合計6点	c	b	a	a	
		a	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
		皆減	縮小	維持	拡大	第6次志免町総合計画や志免町都市計画マスタープランに掲げられた施策の実現を目標とし、志免町における将来的な人口増加に関し、市街化調整区域の今後の土地利用の方向性や事業化、基礎的検証、整備手法の協議を行い、適正な土地利用を提案する。
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A
	成果の方向性	維持		E	D	
	成果の方向性	縮小		F		
	成果の方向性	休廃止	G			
		コストの方向性(一般財源・関与職員数)				新たな土地利用転換を図る区域(吉原地区)を対象に、今後の土地利用の方向性や事業化に向けて、望ましい土地利用のための基礎的検証や整備手法についての分析検証を行うため、コストが増加する。(R7年度より2ヶ年の債務負担行為として契約済み。)
		A	成果拡充・費用拡大			

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1315208
事務事業名		国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会事業		担当課	都市整備課	担当係	都市計画係
総合計画 体系	施策	16	健全な行財政運営	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	16-2	公共施設等の効率的・効果的な管理運営を行う		款	02	総務費
					項	03	企画費
					目	03	ぼた山対策費
根拠法令条例等		粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会規約		個別計画			
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 R 2 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

1 計画・実施(P.L.A.N・D.O)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理協議会	団体	1	1	1
		⑧				
		⑨				
②意図 (対象をどのような状態にしたいか)		・円滑に協議が行われる ・国鉄志免炭鉱跡地の管理が適正に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	・協議会からの文書收受事務、協議会の各会議への参加、草刈業務の実施、協議会への負担金支払事務 ・事務局運営事務(3町で2年ごと輪番制)				

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	総会参加回数	回	目標 1 実績 1	1 2	1	200.0%
イ	活動	その他会議参加回数	回	目標 4 実績 3	4 3	4	75.0%
ウ	活動	負担金額	千円	目標 200 実績 200	200 200	200	100.0%
エ	成果	完了した事業件数	件	目標 1 実績 1	3 3	1	100.0%
オ				目標 実績			
カ				目標 実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	特定 国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
		財源 その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	597	1,100	1,091	1,200	
		合計(A)	597	1,100	1,091	1,200	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	2,757	3,187	2,965	3,236	
		トータルコスト(A)+(B)	3,354	4,287	4,056	4,436	
関与職員数(単位:人)		正職員	0.40	0.38	0.39	0.38	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成29、30年度の総会において、粕屋町の一部の議員より長年協議しているにも関わらず前進していないのでスリム化してほしいとの要望が上がり、管理部門が三町長以下各町職員が運営する「粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会」が発足したため。	②事務事業を取り巻く環境の変化 国鉄炭鉱跡地の維持管理方法が法令上正しい状態になった。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	--	----------------------------

事務事業評価表（事業実施年度：令和 06 年度）

事務事業名 国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	国鉄炭鉱跡地について3町で協議することにより、継続的な維持管理に結び付く。	2			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	国鉄炭鉱跡地は3町共有の普通財産であり、その維持管理は所有者としての責務であるため妥当。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	国鉄炭鉱跡地は3町共有の普通財産であるため、事業主体も3町で協議して進める。				
	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	事務局運営は協議会規約に則って行われるものであり、規定の範囲内の事務を遂行するものであるため。				
有効性	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事務局運営は協議会規約に則って行われるものであり、規定の範囲内の事務を遂行するものであるため。	3			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事務局運営は協議会規約に則って行われるものであり、規定の範囲内の事務を遂行するものであるため。				
	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	事務従事時間も最低限で削減の余地がない。				
効率性	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	草刈り委託、樹木伐採委託のみで、削減してしまうと維持管理できなくなり、放置状態になってしまう恐れがある。	3			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国鉄炭鉱跡地の協議会事業としては、ぼた山の維持管理等を行う協議会であるため、国や県の補助はない。				
分析・検証結果			妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)		
			0点	1点	2点	3点	令和6年度は、ぼた山の維持管理をはじめ、ぼた山の利活用に関し、3町で協議を重ね、その上事業者より1件の事業提案を受けた。今後、ぼた山開発に関する事業提案への受け入れ体制の構築(プロポーザル方式、公募等)や3町の協議体制の整理が必要となるため、各町にてスムーズな事業運営と協議の実施を行う。
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	
		いずれか1点	c	c	c	c	
		合計4点	c	c	b	b	
		合計5点	c	b	b	a	
			合計6点	c	b	a	a
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充	C	B	A		
	維持	E	D				
	縮小	F				コストの方向性(一般財源・関与職員数)	
	休廃止	G					
		D	成果・費用とも維持				

事務事業評価表（事業実施年度：令和 06 年度）

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1315209
事務事業名		公園管理事業		担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画 体系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算科目	会計	01	一般会計
	取り組み方針	15-2	快適な住環境を整える		款	08	土木費
					項	05	都市計画費
					目	02	公園管理費
根拠法令条例等			個別計画				
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度					

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		㊦ 町民	人	46,561	46,342	46,342
		㊦ 公園、広場(都市公園、その他)	箇所	69	69	70
		㊦				
事業内容	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(町民)公園広場を安全で快適に利用できる ・(公園・広場)安全に利用できるよう適切に管理される				
		年間を通して、公園内の樹木管理や清掃、遊具の点検、修繕などの公園(69箇所)の管理を行う ・土地借上げ料の支払事務 ・年間業務委託契約事務(樹木管理、除草清掃、遊具点検) ・その他契約事務				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動					

(2) 指標達成状況

種別	指標名	目指すべき方向性	単位		05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	公園清掃日数	日	目標	178	164	161	98.2%
				実績	164	161		
イ	活動	管理樹木数	本	目標	6,360	5,947	5,820	97.9%
				実績	5,947	5,820		
ウ	活動	遊具修繕件数	件	目標	20	16	10	62.5%
				実績	16	10		
エ	成果	管理不足に起因する事故件数	件	目標	0	0	0	
				実績	0	0		
オ				目標				
				実績				
カ				目標				
				実績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
経費	財源	その他特定財源	5,480	18,300	15,886	37,950	
		一般財源	155,132	187,852	197,584	181,279	
		合計(A)	160,612	206,152	213,470	219,229	206,152
		(内 会計年度任用職員人件費)	(13,775)	(17,684)	(19,919)	(20,835)	
		正職員人件費[按分](B)	6,418	11,464	11,545	14,196	
		トータルコスト(A)+(B)	167,030	217,616	225,015	233,425	
関与職員数(単位:人)			正職員	0.93	1.37	1.52	1.67

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 多くの都市公園等が整備され、それに伴い維持管理が必要なため。	②事務事業を取り巻く環境の変化 施設の老朽化や樹木の成長が見られる。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 町民から、公園施設(遊具・外柵等)の老朽化に伴う苦情や改善要望、又、樹木の成長による落葉の増加や日照不足の苦情も出ている。
--	---------------------------------------	---

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	公園を維持管理することで良好な住環境及び快適な都市基盤の整備が確保できる。	2		
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	公園広場を安全で快適に利用できるようにすることは、上位施策の成果指標である「公園や広場の利用しやすさに満足している町民の割合」の向上に直結するため。			
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画に掲げる町が取り組むべきことである「快適な住環境を整える」ことにつながるため。			
	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	遊具の要補修診断箇所では修繕を実施できていない箇所があるため、修繕計画を立て補修や新設を実施することで成果を向上させることができる。			
有効性	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	志免町管内のすべての公園を対象としている。	2		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	公園施設に関して樹木管理や清掃、遊具の修繕を行うことで安全に利用できるよう管理している。管理施設が膨大なため優先度をつけ都度対応を行っているため適切である。			
	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	専門業者に業務委託を行うことで、最小の事務量で事業を実施している。			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	限られた予算の中で、現場状況を吟味して優先順位をつけ委託・工事等を実施している。			
効率性	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	公園施設の維持管理に関しては、現状対象となる補助等はない。	3		
	分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
	設置からかなりの年数が経過した公園も多く、各公園において施設の老朽化が顕著となっており、遊具のみならずトイレやベンチ、照明灯などの公園施設の修繕を行った。また、樹木管理においても防犯上の観点から樹木の間引きや強剪定、寄植を低く刈り込むなどを行った。施設の老朽化などは、事故防止のため委託による安全点検や日常点検などを行っている。修繕計画を立てる事でより良い管理を行うようにする。事故が起こらないよう、損傷は今後も早期に発見することを心がけたい。					
分析・検証結果	有効性・効率性	妥当性				
		0点	1点	2点	3点	
		いずれか0点	d	c	c	c
		いずれか1点	c	c	c	c
		合計4点	c	c	b	b
		合計5点	c	b	b	a
	合計6点	c	b	a	a	
b		課題が少しあり業務の一部見直しが必要				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)	
		皆減	縮小	維持	拡大		
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A	
		維持		E	D		
		縮小		F			
		休廃止	G				
			コストの方向性(一般財源・関与職員数)				
	D		成果・費用とも維持				